

# 高校地理プリント（過去問類似）

## 自然環境 No.1

名前

得点

/9

**問1** 四国地方東部に広がる平野を堆積作用によって形成した一級河川である。南西方向から北東方向の鳴門海峡側を見下ろした鳥瞰図では、この河川がもたらした土砂による平野の手前に川筋が見られ、奥に海峡や島々が位置する。この河川の名称を答えよ。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 利根川                      2. 信濃川                      3. 吉野川                      4. 筑後川

**問2** インド東部の都市コルカタを通る経線に沿って北上すると、ガンジス川下流の広大なデルタや平野から標高が急激に上昇し、標高6000mを超える急峻な大山脈へと突き当たる。インドプレートとユーラシアプレートの衝突によって形成された、この新期造山帯に属する山脈は何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. ヒマラヤ山脈                      2. ザグロス山脈                      3. アルタイ山脈                      4. カフカス山脈

**問3** 火山島の沈降に伴うサンゴ礁の発達過程において、島が沈降して陸地との間にラグーン（礁湖）が形成される段階の地形を何というか。オーストラリア北東岸のグレートバリアリーフがその代表例である。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 堡礁                      2. 卓礁                      3. 裾礁                      4. 環礁

**問4** 南アメリカ大陸の西岸沖に位置し、海洋プレートであるナスカプレートが大陸プレートである南アメリカプレートの下に沈み込むことで形成されている、非常に深く細長い海底の凹地を何というか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. アリューシャン海溝                      2. トンガ海溝                      3. マリアナ海溝                      4. ペルー・チリ海溝

**問5** インド半島東岸に位置するある都市は、夏よりも、北東モンスーン（季節風）がベンガル湾から湿った空気を運んでくる10月から11月にかけて降水量のピークを迎える。この気候特徴をもつ、自動車産業やIT産業の集積地としても知られる都市はどこか。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. カルカッタ                      2. ジャイプル                      3. チェンナイ                      4. カンプール

**問6** 中央アジア南東部に位置し、ヒンドークシュ山脈や天山山脈などの大山脈が合流する結節点となっており、平均標高が5,000m近くに達することから「世界の屋根」とも称される高原の名称を答えよ。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. モンゴル高原                      2. アルタイ山脈                      3. パミール高原                      4. チベット高原

**問7** 中部地方に位置するある都市は、周囲を山々に囲まれた内陸の盆地に位置するため、海風による気温調節作用が及びにくく、また夜間の放射冷却の影響も強く受ける。このため、同地方の日本海側や太平洋側の沿岸都市と比較して、最暖月と最寒月の平均気温の差（年較差）が最も大きくなる特徴を持つ。この気候特性を示す、飛騨地方の中心に位置する岐阜県の都市はどこか。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. 高山市                      2. 富士市                      3. 豊田市                      4. 松本市

**問8** チベット高原に位置するある都市は、標高約3,700mの高地にあるため、最暖月平均気温が約15℃と年間を通じて冷涼である。一方で、北緯約30度という比較的低い緯度に位置するため、気温の年較差は高緯度の内陸部に比べてそれほど大きくない。また、南側の高い山脈によって湿潤な気流が遮られるため、年間降水量が極めて少ない。この気候特性をもつ、チベット自治区の首府である都市はどこか。 (2010年 全国公立入試 類似)

1. レイ                      2. ラサ                      3. コム                      4. ハミ

**問9** 黒海とカスピ海の間位置し、標高2000メートルを超える険しい高山が連続する新期造山帯の山脈がある。この山脈はアジアとヨーロッパの境界をなすとともに、険しい地形が障壁となって多様な民族や宗教が混在する地域を形成する要因となった。この山脈の名称として最も適当なものを答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ヒマラヤ山脈                      2. アルプス山脈                      3. カフカス山脈                      4. ピレネー山脈

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 吉野川	徳島平野を形成した主要な河川である。四国山地から東へと流れ、紀伊水道に注ぐ。鳥瞰図においては、この河川の下流に広がる平野と、その先にある鳴門海峡などの地形的特徴が立体的に描かれる。
問2	答え 1 ヒマラヤ山脈	コルカタを通る経線に沿った地形断面では、南側のガンジス川下流の平坦な低地から北上するにつれて、インドプレートとユーラシアプレートの衝突によって形成された急峻なヒマラヤ山脈へと急激に標高が高くなる特徴を持つ。この山脈は新期造山帯に属し、世界最高峰の山々が連なっている。
問3	答え 1 堡礁	サンゴ礁は、地盤の沈降や海面の上昇に伴って、裾礁から堡礁、そして環礁へと変化していく。島が沈降し、陸地とサンゴ礁の間にラグーン（礁湖）が形成された状態の地形を堡礁と呼ぶ。オーストラリア北東岸のグレートバリアリーフはその代表例である。
問4	答え 4 ペルー・チリ海溝	南アメリカ大陸の太平洋岸（西岸）では、ナスカプレートが南アメリカプレートの下に沈み込む「狭まる境界」が形成されている。この沈み込み帯に沿って、非常に深い谷状の地形であるペルー・チリ海溝が発達している。この境界付近では、アンデス山脈の形成や火山活動、巨大地震の発生が活発である。
問5	答え 3 チェンナイ	インド半島東岸に位置するチェンナイは、夏（南西モンスーン期）には西ガーツ山脈の雨影となるため比較的雨が少ないが、秋から冬にかけて北東モンスーンがベンガル湾を渡って湿った空気を運んでくるため、10月～11月に降水量のピークを迎える。また、近年は自動車産業やIT産業の発展が著しい都市としても知られる。
問6	答え 3 パミール高原	中央アジア東部に位置するこの高原は、ヒンドークシュ山脈、カラコルム山脈、天山山脈、クンルン山脈などの巨大な山脈が集まる結節点であり、平均標高が極めて高いため「世界の屋根」と称される。アラビア半島やイラン高原、メソポタミア低地などと比較して、著しく標高が高いことが特徴である。
問7	答え 1 高山市	内陸の盆地に位置する高山市は、海から遠く離れているため海風による気温の緩和作用を受けにくい。さらに、盆地特有の放射冷却現象が起こりやすいため冬季の冷え込みが厳しい一方で、夏季は日中に気温が上昇しやすい。この結果、沿岸部に位置する富山市や浜松市と比較して、気温の年較差が最も大きくなる。
問8	答え 2 ラサ	標高が高いため同緯度の平地よりも気温が著しく低く、高山気候（H）の性質を示す。低緯度に位置するため年較差は小さく、ヒマラヤ山脈などの高い山脈に遮られてモンスーンの影響を受けにくい。そのため、降水量が少なく乾燥している。この特徴に合致するチベット自治区の首府はラサである。
問9	答え 3 カフカス山脈	黒海とカスピ海の間に位置するこの山脈は、アルプス・ヒマラヤ造山帯（新期造山帯）の一部であり、標高5,000mを超えるエルブルス山などの険しい高山が連なる。この険しい地形は、古くから民族や言語、宗教の移動を妨げる障壁となり、周辺地域は「民族のモザイク」と呼ばれるほど多様な文化が混在する地域となった。北側はロシア連邦、南側はジョージア、アゼルバイジャン、アルメニアの三国が位置している。